寄贈品コーナー

平塚空襲展 ―空襲から復興へ―

２０１３年 8月１日（木）～９月５日（木）

昭和 20（1945）年 7 月 16 日の夜、平塚市は大規模な空襲を受け、まちは焼け野原となりました。そのため、空襲後、人々は物資の欠乏に悩まされながら、生活を送ることになりました。

終戦を迎え、平塚市は戦災からの復興に向けて動き出しました。新しい都市計画にもとづく道路拡幅・区画整理といったまちなみづくりが進められ、学校再建などの教育の充実もはかられ、現代の平塚市の基礎がつくられました。

復興のめぼしの着いた昭和 25（1950）年には「平塚復興まつり」が開かれ、これが現在の「湘南ひらつか七夕まつり」になっていきます。

本展示では、平塚空襲の実態から復興までの流れを写真や実物資料で紹介します。

平塚復興まつり